

図書館カレンダー



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

中央図書館は、2月22日から28日まで、蔵書点検のためお休みとなります。詳しくは、掲示ポスター等をご覧ください。



				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31



- * 第1、第3水曜日には、「おはなし会」があります。
- * **3** のような、**黒い表示** がお休み です。
- * 毎週水曜日、金曜日は **夜7時まで**、開館 (児童室・視聴覚コーナーは除く)
- * 月の最後の平日は、お休みです。「**月末図書整理日**」です。



よく読まれている本 ランキング

文学 (小説等)



- 1** 使命と魂のリミット
東野 圭吾 著 新潮社
- 2** 還らざる道
内田 康夫 著 祥伝社
- 3** 月下の恋人
浅田 次郎 著 光文社
- 4** 狼花
大沢 在昌 著 光文社
- 5** ナイチンゲールの沈黙
海堂 尊 著 宝島社



ノンフィクション



- 1** マーリー 世界一おバカな犬が
教えてくれたこと
ジョン・G・ガリ 著 早川書房
- 2** 病気にならない人は知っている
ケイト・ホド- 著 幻冬舎
- 3** 車いすのパティシエ
ニッポン放送 扶桑社 (発売)



たいいま、人気上昇中!

「さよなら、サイレント・ネイビー」
伊東 乾 著 集英社
第4回開高健ノンフィクション賞受賞作
友だちが地下鉄サリン事件の実行犯だった…。

「藤原正彦の人生案内」 中央公論新社
「国家の品格」で日本のあるべき姿を問いた著者が、教育、家族、進路…、あらゆる日本人の悩みに答えます。

編集後記

中央図書館は15歳になりました。人と言えば義務教育卒業です。これからは、文化発信の中核として更なる進化の真価が問われる年代に入ります。職員一丸となって進級して行きたいと思えます。どうぞ、よろしく願いいたします。

季節は冬、夜空が一番黒くなる時期です。みなさん、冬の星座といえば、何を思い浮かぶでしょう？やはり、三ツ星で有名なオリオン座でしょうか。オリオンはギリシャ神話では優れた狩人と描かれています。三ツ星はオリオンのベルトです。では、日本では古く何と呼ばれていたのでしょうか。その形から「鼓(つづみ)星」と呼ばれています。三ツ星の部分を「三光」、「親孝行星」、「親担い星」等と呼んでいます。また、一等星のベテルギウスは赤みがかったオレンジ色をしているので「平家星」、リゲルは青白い色をしているので「源氏星」と呼ばれています。皆さんも冬の夜空を見上げて悠久の星たちの語らいを聞いてみませんか？

chokki